

## 加工交流会

酒井秀太

### 1. 目的

現在、魚価の低迷や漁場環境の悪化による水揚の減少、燃油の高騰等の要因により漁家経営は非常に厳しい状況にあります。そこで経営安定のために加工品の製造販売が行われるようになってきましたが、安定した製造・販売などの点で問題を抱えているのが現状です。

さらに女性部活動は地域外には伝わらず、他地域や他業種の人々と情報交換を行う機会がほとんどありません。そこで他業種の人々と交流を持ち、それを今後の活動にいかすことが必要ではないかと思い、今回の加工交流会は開催されました。

また実際に加工品を製造販売している農業生活改善起業家グループの方を講師に招くことで、加工品を製造・販売する際に感じている疑問や直面している問題を聞くことで解決の一助とすることも目的とした。

### 2. 場所及び日程

平成18年12月14日(木)

沖縄市農民研修センター

### 3. 講師

紅加工所	仲村渠 光子 氏
中城農産加工所	新垣 ヨシ子 氏
きむたか加工所	恩納 シゲ 氏
〃	大城 春子 氏

### 4. 参加者

伊江漁協女性部2名、沖縄県近海鮪漁協女性部1名、勝連漁協女性部2名、八重山漁協女性部1名、信漁連1名

### 5. 内容

交流会は普及センター多和田所長の開会挨拶ではじまり、中部農業改良普及センター普久嶺班長の講師紹介に続き、講師の発表が行われました。講師の発表では加工品を作るようになった経緯からはじまり、商品の製造過程や販売状況、参加しているイベントについての紹介、また JICA の活動として海外からの研修生を受け入れていることなどの話があった。

質疑応答を行った後、漁協女性部からグループ人数や活動内容、地域の漁業概要等についての報告を行った。しかし発表時間が少なかったこともあり、情報を上手に発信できなかったのが残念であった。

次に講師の方々が実際に販売している加工製品の試食会を行った。製品は紅芋のパイやニンジンを使ったゼリー・カステラなどの菓子類から、ドレッシングや漬け物など様々な種類があり、さらに魚の南蛮漬けやモズクのりなど地域の水産物を使った加工品もあった。どの加工品も地元の特産物を使いながら独自性を出したものであり、参加者からは好評を得ていた。

質疑応答では、経理についての質問や施設及び機器を導入するのに必要な資金の調達方法についての質問など経営に関するものが多く、経営についての問題の多さと関心の高さが感じられた。また質疑の中で商工会に加入するメリットについての話があり、商工会に任せることで経理の作業が楽になるという話があった。



多和田所長による開会の挨拶



意見交換



講師の方々

左から仲村渠光子氏（紅加工所）、新垣ヨシ子氏（中城農産加工所）、恩納シゲ氏、大城春子氏（きむたか加工所）



試食会の様子



実際に販売されている加工商品